

平成29年度事業計画

特定非営利活動法人いきもの語り

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人いきもの語りは、障がいのある方及びそのご家族・関係者に、障害のある方が地域で生き生きと生活できるための各種生活支援に関する事業を行い、地域福祉社会の増進に寄与することを目的として下記の活動を展開する。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、

- (1) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- (2) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業
- (3) 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

2 事業の実施に関する事項

① 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

1) 放課後等デイサービス

(ア) 事業内容

① 身体及び知的障害児者が地域において安定した生活を営むため、放課後や夏休みなどの休暇時に行う放課後等のデイサービス事業

② 重度心身障がい児が地域において安定した生活を営むため、放課後や夏休みなどの休暇時に行う放課後等のデイサービス事業

(イ) 実施予定場所

① みよし市三好丘緑3丁目1-1アールビル2階D3

②-1 みよし市東陣取山78番地1

②-2 豊田市大清水町大清水180-1

(ウ) 従事者の予定人数

① 現在常勤職員2名 非常勤職員7名。

②-1 現在常勤職員1名 看護師・訓練担当職員(非常勤)10名 児童指導員(非常勤)4名

②-2 現在常勤職員2名 看護師・訓練担当職員(非常勤)8名 児童指導員(非常勤)2名

②-1については看護師常勤を1名採用予定である。

(エ) 従業員待遇

スタッフ研修をさらに推進するため、研修会・勉強会への参加、他施設・他事業所見学、社内ミーティング・勉強会を強化する。

安全にケアができるように環境整備を整える。

スタッフの健康管理に努め、健康診断・予防接種を義務付ける。

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

① 10名定員の所 前年度は一日平均6名であった。

②-1 5名定員の所 前年度は一日平均5.5名であった。

②-2 5名定員の所 4月からの一日平均3.4名であった。

重症児デイについては前年度4月から2か所となった。アモについては移転後、利用者が増加したため平均5名を予定している。

(カ)プログラム

- ・個々の成長に応じた取り組みができるように、目標を明確にし、スタッフ間で意思統一する。それにより、同じプログラム内においても個々の成長を考えてより活動できるようにする。
- ・子ども達がいろいろな経験ができるように、さまざまな活動を工夫したり、外出も積極的に計画する。
- ・音楽療法や体のケアを積極的に取り入れ、子ども達の成長の記録を保護者と共有する。
- ・将来の就労を見越した活動を行う。
- ・地域の人々との関わりを大切にし、相互のふれあいができるような活動を計画する。

(キ)収入見込み額

- ① 18,000 (千円)
- ②-1 28,800 (千円)
- ②-2 24,000 (千円)

(ク)支出見込み額

- ① 17,000 (千円)
- ②-1 21,000 (千円)
- ②-2 18,000 (千円)

2)児童発達支援事業について

未就学児の通所希望に応え、児童発達支援事業の開所を検討していく。

② 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業及び地域生活支援事業の事業

(ア)事業内容

障害者総合支援法に基づき、支援の必要な障がい者に対し、生活介護事業を行う。
排せつ・食事等の介護、日常生活上の支援を行うとともに、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な援助を行う。
障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として日中一時支援事業を行う。

(イ)実施予定場所

みよし市東陣取山78番地1

(ウ)従事者の予定人数

現在常勤職員3名 非常勤職員2名。
看護師(非常勤)2名 嘱託医1名
4月より利用者増加のため常勤職員1名を増員予定

(エ)従業員待遇

スタッフ研修をさらに推進するため、研修会・勉強会への参加、他施設・他事業所見学、社内ミーティング・勉強会を強化する。
安全にケアができるように環境整備を整える。

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数

5名定員の所 前年度は一日平均1、5名であった。
今年度は4月より3名の利用予定がある。

(カ)プログラム

- ・地域の方々に提供し、使ってもらえるような製品の開発に取り組む。
ボランティアさんに商品モニターになってもらい、意見を聞きながら、製品を研究する。
- ・地域のお祭り、催し、学校の文化祭に積極的に出店し、自主製品の販売を行う。
- ・日常的な自主製品の販売方法を確立していく。
- ・ハーブ栽培、ハーブティー作り、野菜栽培、バスボム作り、ペーパーマッシュによる小物入れ等、試作、研究し 精度をあげる。その他にも地域の方に興味を持ってもらえるような自主製品の開発に努める。
- ・身体ケアについて、より状態に即したケアができるように取り組む。
- ・外出も多く取り入れる。
- ・音楽療法など精神的にリラックスできる取り組みも多く取り入れる。

(キ)収入見込み額

900 (千円)

(ク)支出見込み額

1,500 (千円)

③2019年4月に、みよし市苅生町あざみの土地に生活介護と重症児デイの多機能型事業所の開設をめざし、設計図を作り、見積もりを依頼している。建設に向けた資金計画を立てている。平成30年度障害者(児)施設整備事業の補助金に応募しており、結果待ちである。結果次第では2020年となる可能性もある。

生活介護事業所では地域の方々との交流も多く図っていくため、設計には交流スペースも確保した。